

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校6年生

国語

C1 発表や話し合い

児童生徒

2 概要

コロナ禍において、集団での話し合いが制限されている中で、Microsoft Teamsのチャット機能を使った話し合いを行った。

単元(題材)名

いちばん大事なものは

単元(題材)目標

◎互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。

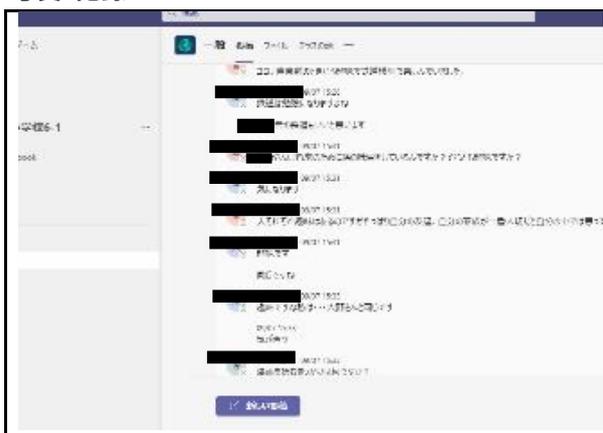
活用したICT機器、アプリケーション等

GIGA端末、Microsoft Teams

本時のめあて

話し合いを行い、自分の考えを広げよう。

写真・記録



本時の展開の概要

- ①自分の大事なものを理由とともに考え、ノートに書く。
- ②少人数グループで意見交換を行い、話し合う。
- ③メンバーを変えて、話し合いを行う。これを2回繰り返す。
- ④話し合いを終えた上で、自分の大事なものについて考えが深まったことをノートに書く。

ICT機器の活用でねらった効果

・感染症予防の一つの策として、発声や直接対面せずに話し合いを行わせる環境づくり

児童生徒の様子(成果や課題)

○タイピングが早くなりつつあり、児童たちは活発に意見交換をしていた。

△「話す・聞く」の単元であるが、果たして文字を打ち込むチャットは「話す・聞く」になるのか「読む・書く」になるのか判断が難しく感じた。